

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.24

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

青森県産豚肉を使用した 第2回手作りソーセージ&パスタ料理教室

平成25年9月19日青森市「アピオあおもり」で、昨年に引き続き第2回目のソーセージ教室が開催されました。

講師は、(財)新郷村ふるさと活性化公社 本格的ソーセージの匠「角岸秀伸氏」と「三瀧信孝氏」です。

また、パスタ料理は素材にとことん拘るレストラン「エヴィエ」の「佐藤玲一シェフ」です。

ソーセージは「プレーンと南蛮漬け」の2種類を作り、
パスタ料理は「手作りベーコンとキノコのパスタ」を作りました。



県産豚肉を使用し、自分で作る本格的ソーセージと手作りベーコンを素にした簡単に出来るパスタを参加者に体験し楽しんでいただき、県産豚肉の素晴らしさをアピールしたいとの思いで、開催しました。

今回、参加者22名の内昨年の第1回目に引き続き2度目の参加者はなんと半数近くとなり、参加者の方々は、楽しい雰囲気ですソーセージ作りとパスタ料理に取り組んでいました。

その後、自分たちが作ったソーセージ、パスタ更に佐藤シェフ特製「ピクルス」や「新郷飲むヨーグルト」を加え参加者全員でランチを頂きました。

各テーブルから「おいし〜い」の声が聞こえ、次の開催を望む声が多く寄せられました。



生産者補てん金 交付状況

○肉用子牛生産者補給金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		320,000円	292,000円	209,000円	122,000円	188,000円
合理化目標価格		273,000円	251,000円	144,000円	86,000円	142,000円
平成25年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	494,600円	427,500円	209,400円	131,600円	285,300円
	交付単価	—	—	—	—	—
	交付額	—	—	—	—	—

○肉用牛繁殖経営支援事業支援交付金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準		410,000円	350,000円	250,000円
保証基準価格		320,000円	292,000円	209,000円
平成25年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	494,600円	427,500円	209,400円
	交付単価	—	—	45,400円
	交付額	—	—	1,135,000円

○養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	平均粗収益	平均生産コスト	補てん金単価
平成25年度 第1・2四半期 (4月～9月)	37,064円/頭	35,364円/頭	0円/頭

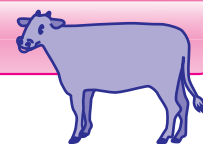
平成25年度畜産経営力緊急支援リース事業(2分の1補助付きリース事業) 導入機械の検収始まる

同リース事業は、平成25年度の単年度事業であり、これまで当協会ではコントラクター組織が導入する機械を対象に3団体分、事業費5千6百万円、対象機種12台について交付決定がなされ、事業を進めてきたところである。各々の機械は平成26年2月までに各団体に順次引き渡されることとなるものであり、その1回目の機械検収が10月末から始まりました。機械の機能などカタログどおりの作動を関係者（受益者、機械メーカー、リース会社、畜産協会）立合いの上、引き渡されることとなります。



(機械名：ロールカッター)

青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表

【開催日 25年8月9日】 <速報値> 1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	245	795,900	24,150	553,149	292	315	1,754	297	528,921	1,641	113
	雌	196	691,950	105,000	445,200	305	289	1,543	238	419,272	1,436	107
【小計】		441	795,900	24,150	505,171	298	303	1,665	535	480,142	1,555	110
	主	10	615,300	436,800	521,115	291	300	1,738	7	448,950	1,400	338

・黒毛和種の取引頭数は441頭で、前回より去勢52頭減、雌42頭減、全体で94頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は505千円で、前回より去勢24千円高、雌26千円高、全体で25千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	90	565,658	316	1,787	293	69	445,702	294	1,514	305	159	513,602	1,674	298	36.1
安茂勝	33	547,082	332	1,648	296	33	435,909	291	1,499	309	66	491,495	1,579	302	15.0
北平安	8	518,569	304	1,707	297	10	414,120	269	1,541	303	18	460,542	1,620	300	4.1
百合茂	12	633,588	319	1,986	287	5	535,500	283	1,891	291	17	604,738	1,960	288	3.9
安福久	14	532,800	315	1,691	297	3	598,850	270	2,218	301	17	544,456	1,772	297	3.9
北乃大福	7	564,300	300	1,880	304	7	456,300	279	1,637	302	14	510,300	1,763	303	3.2
総合計	245	553,149	315	1,754	292	196	445,200	289	1,543	305	441	505,171	1,665	298	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花園」で36.1%、次いで「安茂勝」15.0%となった。
 ・第1花園の平均価格は514千円で、前回に比べ38千円高となった。単価は1,674円で前回より130円高となった。

【開催日 25年9月13日】 <速報値> 1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
肉専用種	雄											
	去	2	210,000	170,100	190,050	288	292	651				
	雌											
【小計】		2	210,000	170,100	190,050	288	292	651				
	主											
黒毛和種	雄											
	去	234	798,000	24,150	550,833	298	311	1,773	245	552,947	1,752	21
	雌	196	754,950	262,500	456,386	305	288	1,583	196	447,075	1,548	35
【小計】		430	798,000	24,150	507,782	301	300	1,690	441	505,893	1,666	24
	主	3	709,800	462,000	588,700	306	299	1,967	11	476,318	1,660	307
日本短角種	雄											
	去	1	265,650	265,650	265,650	309	318	835				
	雌	1	265,650	265,650	265,650	309	318	835				
【小計】		2	265,650	265,650	265,650	309	318	835				
	主											

・黒毛和種の取引頭数は430頭で、前回より去勢11頭減、雌は増減なし、全体で11頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は508千円で、前回より去勢2千円安、雌9千円高、全体で2千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	90	569,917	313	1,821	298	81	466,187	295	1,582	309	171	520,782	1,711	303	39.8
安茂勝	23	552,483	316	1,751	299	26	446,452	284	1,571	305	49	496,221	1,660	302	11.4
百合茂	13	588,404	324	1,819	295	7	484,950	297	1,635	295	20	552,195	1,758	295	4.7
優福栄	14	536,550	313	1,714	287	6	403,725	274	1,473	275	20	496,703	1,648	284	4.7
安福久	13	556,823	303	1,837	303	4	647,063	290	2,233	297	17	578,056	1,927	302	4.0
芳之園	9	442,750	271	1,633	306	4	486,150	281	1,732	315	13	456,104	1,664	308	3.0
総合計	234	550,833	311	1,773	298	196	456,386	288	1,583	305	430	507,782	1,690	301	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花園」で39.8%、次いで「安茂勝」11.4%となった。
 ・第1花園の平均価格は521千円で、前回に比べ7千円高となった。単価は1,711円で前回より37円安となった。

【開催日 25年10月11日】 <速報値> 1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	254	785,400	110,250	594,329	290	310	1,918	234	550,833	1,773	145
	雌	185	750,750	205,800	484,249	303	283	1,712	195	456,535	1,583	129
	主	439	785,400	110,250	547,940	295	299	1,836	429	507,970	1,690	146
【小計】		5	573,300	406,350	482,790	303	273	1,766	4	548,363	1,883	-117
	主											
	主											
日本短角種	雄											
	去	1	217,350	217,350	217,350	290	337	645				
	雌	1	217,350	217,350	217,350	290	337	645	1	265,650	835	
【小計】		2	217,350	217,350	217,350	290	337	645	1	265,650	835	-190
	主											

・黒毛和種の取引頭数は439頭で、前回より去勢20頭増、雌10頭減、全体で10頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は548千円で、前回より去勢43千円高、雌28千円高、全体で40千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名号	去勢					雌					合計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	99	594,894	311	1,910	287	66	481,441	284	1,698	305	165	549,513	1,830	294	37.6
安茂勝	30	588,350	315	1,868	298	25	469,056	290	1,617	306	55	534,125	1,759	302	12.5
優福栄	11	604,227	311	1,946	298	15	476,980	282	1,691	290	26	530,815	1,805	294	5.9
安福久	13	611,908	315	1,942	291	8	619,369	282	2,195	303	21	614,750	2,032	295	4.8
北乃大福	10	604,380	308	1,964	301	9	478,450	271	1,768	311	19	544,729	1,877	306	4.3
百合茂	8	638,531	312	2,047	286	8	531,169	298	1,782	293	16	584,850	1,917	289	3.6
総合計	254	594,329	310	1,918	290	185	484,249	283	1,712	303	439	547,940	1,836	295	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花国」で37.6%、次いで「安茂勝」12.5%となった。
 ・第1花国の平均価格は550千円で、前回に比べ29千円高となった。単価は1,830円で前回より119円高となった。 次回開催日は11月8日（金）です。

【あおり短角牛&シャモロックPR販売in青森ねぶた祭り】

本年8月2日～7日に青森市で開催された「青森ねぶた祭り」で県の特産畜産物である短角牛とシャモロックのPRを図るため、ねぶた期間中屋台販売を行なった。

青森市本町の「ハートビート」に協力をお願いし、短角牛の牛串とシャモロックのつくねを限定販売した。炭火でじっくり焼いて提供した短角牛串は「赤身が旨い」「食べ応えがある」など好評だった。期間中毎日買いに来る“短角ファン”も出現して用意した600本は完売となった。また、シャモロックの生産者手作りのつくねは食べやすく「青森の地鶏おいしい」と県外からの観光客に好評で6日間で400本が売れた。

2013 北海道・東北B-1グランプリin十和田

あおり短角牛地産地消推進協議会（事務局：青森県畜産協会）は、平成25年9月7日（土）・8日（日）に十和田市で開催された「2013 北海道・東北B-1グランプリin十和田」の併催イベント 十和田バラ焼きキッズパークに参加した。

当協議会は、出展した十和田市立高清水小学校と共にあおり短角牛の紹介のため、リーフレットの配布及びあおり短角牛のバラ焼きを提供し、短角牛の知名度向上のためのPRを実施した。両日各300食用意したバラ焼きには長蛇の列ができ、14時過ぎには完売するほどの盛況であった。

また、全体では、2日間で約18万人の来場者があり大変賑わいを見せていた。



【県産畜産物PRinあおりバル街】

10月25日青森市で行われた「あおりバル街」に県産畜産物のPRブースを出展した。チケットと案内マップを手に青森市内の飲食店で食べ歩きや飲み歩きを楽しむこのイベントは、中心市街地を活性化させようと青森商工会議所が実施している。協会では県産のいろんな畜産物を知ってもらおうと新郷村で作ったロースハムや東北町の生乳を使って町内で製造した手作りモッツァレラチーズなどをPR販売した。また、五戸町等で作られた純粋はちみつも展示し、アカシア蜜やとち蜜、りんご蜜などの食べ比べが出来る試食コーナーは好評で、参加者が味の違いを確かめていた。



【あおり短角牛PR販売イベント】

あおり短角牛地産地消推進協議会（事務局：青森県畜産協会）は、上北管内の道の駅で開催されたイベントに参加し短角牛のPRを行った。

10月26日・27日十和田市の道の駅「とわだびあ」で、とわだびあ12周年祭が行われ、当協議会のブースでは1日3回十和田市のB級グルメである短角牛のバラ焼きを試食として提供した。十和田市は昔、短角牛の飼養地帯だったこともあって知っている来場者が多く、飼養頭数が激減した現在の状況に驚いていた。また、短角牛のモモスライスを特別価格で販売したところ1時間足らずで完売となる盛況ぶりであった。



11月4日は、旧十和田湖町の道の駅「奥入瀬ろまんパーク」で十和田湖ふるさとまつりが行われ、短角牛の試食販売会を実施した。短角牛のランプステーキをメニューにしている道の駅のステーキハウス「味蕾館」が肩ロースや三角バラ、モモなどの精肉を焼肉用、すき焼き用として販売した。焼き肉を試食で提供し家族連れなどで賑わっていた。

畜産事情

野下げが始まる

ストーブが恋しくなる時節、牛たちも山から下がる準備が始まっている。

日一日と気温の低下が見られるようになり、山にいる牛たちが気になり、いつ下げたらいいのか思案の日々である。牛だって、朝夕の寒さには堪えるだろうに、しかし、一日でも長く草を食べさせて越冬飼料に入るのを遅らせたいという気持ちもある。もう少しの我慢、でもやっぱり気になる畜主たちである。

稲わら集めも順調に終わり、中には牛を下げ始めている人たちもいる。

牛の収穫時期はいつなのか

子牛が生まれ、市場で売れる日が収穫時期なのか。自然交配で子牛を生産していたときには、生まれる時期が冬の段階に集中し、それを育成して秋に市場に上場する、だから農産物と同じように収穫の秋といっても良かったのだが、人工授精で生産されるようになってからは、一年中、子牛の生産が可能になってしまった。それでも秋になると子牛の生産がなくても、山から牛が下がってくる、冬の準備が終わる、そこでほっとする。一年のくぎりの秋は、やっぱり牛飼いにとっても収穫の秋といってもいいのかも知れない。

攻めの繁殖対策

分娩後、いくら待っても発情をみせない、どうしてなのか、と悩みが多い。そのうちにくるさ、と思っているうちに、どんどんと日にちが経ってしまう。一年に一産どころか、三年に二産、はなはだしいのになると、二年に一産という牛も出てくる。これでは経営が成り立たないと思うのだが、とにかく発情は来るまで待とうの人たちが多い。来ぬなら来さすというような「攻めの繁殖対策」をしないということになるのだが、とにかく発情を見つけないで「発情は強弱とわず、見落とすな」「発情は鳴く、騒ぐばかりにせず、体の変化」を知ることである。どうしても発情が来ないものは強制的に來させる方法だってあるのだから。しかし、最近の牛たちは上品になったのか、内に秘めて発情徴候を現さなくなったようでもある。

家畜市場で思うこと

子牛の体は大きくなったものの、足（蹄）の小さいのが気になる。大相撲の世界では、新弟子を選ぶときには足のデカイのを選定の基準とするらしい。足のデカイ子供は将来、体が大きくなると言われているからである。牛だって同じようなものである。蹄のしっかりしたものは肢、腰が丈夫で、強い体になる、そして生涯生産性の高い牛になるからである。

（相談員 工藤 洋一）

○第10回 青森県肉用牛共進会・青森県乳用牛共進会

平成25年9月7日に七戸町の青森県家畜市場において、青森県畜産農業協同組合連合会並びに全国農業協同組合連合会青森県本部主催の第10回青森県肉用牛共進会・青森県乳用牛共進会が開催され、県内から肉用牛95頭、乳用牛60頭の出品があった。

審査の結果、肉用牛の部で農林水産大臣賞には、黒毛和種、母系登録群の十和田市、太田隆志さんの「よしふくの9号・よしこ号」が選ばれました。

乳用牛の部では、農林水産大臣賞には、ホルスタイン種、経産牛（2歳以上3歳未満）の三沢市、千葉淳一さんの「サウザンドリーフGWセカンド デリアET号」が選ばれました。



○第10回 子牛・育成雌牛品評会

平成25年9月19日につがる市屏風山牧場において、つがる市和牛改良組合主催の第10回子牛・育成雌牛品評会が開催され、管内から23頭の出品があった。

審査の結果、チャンピオン賞には、雌子牛の部の小林 豊さんの「はなひら号」が選ばれました。

○2013東北町畜産品評会

平成25年10月23日に東北町の町営道ノ下放牧場において、東北町主催の2013畜産品評会が開催され、管内から35頭の出品があった。

審査の結果、チャンピオン賞には、黒毛和種雌の部では、瀬川重吉さんの「うめのくに号」、黒毛和種雄の部では、内山哲也さんの「雷電安福号」が選ばれました。



○第35回 七戸畜産農協 子牛畜産共進会・和牛講習会

平成25年10月29日に七戸町の青森県家畜市場において、青森県七戸畜産農業協同組合主催の第35回子牛畜産共進会が開催され、管内から38頭の出品があった。

審査の結果、グランドチャンピオンには、第2区雌の2（8月～12月未満）の横浜町の佐藤豊吉さんの「あいみね号」が選ばれました。

共進会終了後に、北国肉牛商事の小野健一氏を講師に「黒毛和種の情勢・枝肉相場の動向・今後望まれる交配」についての和牛講習会が開催された。



○第5回 八戸農協 肉用子牛品評会

平成25年10月31日に八戸市南郷区の古里公民館前広場において、八戸農業協同組合主催の第5回肉用子牛品評会が開催され、管内から48頭の出品があった。

審査の結果、グランドチャンピオンには、雌子牛4部の八戸市の野沢光男さんの「もところ号」が選ばれました。



○第1回 青森農協 畜産共進会

平成25年11月1日に今別町営山崎放牧場において、青森農業協同組合畜産部主催の第1回の畜産共進会が開催され、管内から16頭の出品があった。

審査の結果、グランドチャンピオンには、第3区育成雌牛部の今別町の大澤義道さんの「やすこ2号」が選ばれました。



毎年恒例!! KEIBAツアー2013開催

10月6日、毎年恒例の競馬ツアーが馬事畜産振興協議会と畜産協会の共催で開催された。このツアーは大人から子供まで楽しめる競馬をもっと多くの方に知ってもらおうと毎年企画されているもので、今年は約170名が参加し、盛岡競馬場にて競走馬の臨場感あふれる走りを体感した。今回は競馬が初めてというビギナーが7割以上参加したため、バスの中では馬券の買い方講座や、競馬の歴史などが紹介された。また、今回のツアーでは初めて「裏方見学ツアー」が企画され、普段は入場できない馬体重を計測する検量室やジョッキーの待機場所などを見学した。参加者は、ジョッキーがふだん身に付ける器具を実際に体験したりして楽しんでいた。

ツアー参加者へ実施したアンケートからは、約8割が「参加して良かった」と評価しており好評であった。



畜産堆肥の即売 始まる

畜産堆肥の流通促進のため行っている堆肥展示会において、今年度から堆肥販売も実施している。当協会で設置しているPRブースに県内の堆肥生産者が来て、耕種農家へ向けて直接販売を行うもので、堆肥の特徴やこれまでの作物への施肥実績など話し合いながら販売を行っている。来場した耕種農家も、「作り手と顔を見て、話しながら買えるのはいいと思う。こちらの要望も伝えやすい。」と話していた。土づくりに堆肥などの有機質肥料を利用する耕種農家は年々増加傾向にあり堆肥の品質への要望も少しずつ増えているため、当協会が運営する「あおり堆肥ネットワーク推進協議会」では、今後とも顔が見える即売会は実施していきたいと考えている。



お知らせ

堆肥品評会 表彰式開催

【開催日時及び場所】

- 開催日時 平成25年12月20日（金）13:00～
- 開催場所 青森県総合社会教育センター（青森市大字荒川字藤戸119-7）
（安心・安全な農産物生産推進大会と併催）

時 間	内 容
13:00	1 あいさつ 青森県農林水産部長
13:10～13:40	2 「第7回あおり堆きゅう肥品評会」表彰式
13:40～14:10	3 「あおり土づくりの匠」認定証書授与式
14:20～15:30	4 基調講演 安全・安心な農産物を育てる「良い土」とは？ ～土壌微生物多様性・活性値による新たな評価～（仮） 講師：（独）農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター情報利用研究領域 上席研究員 横山 和成 氏

県産品を使ったこだわりレシピ

青森県産
豚肉使用

手作りソーセージ recipe

【家庭版】

材 料 4~5人前(18~20本)

粗挽きソーセージ

- 1 青森県産 豚腕肉……………500g
- 塩……………5g
- ナツメグ……………1g
- 2 白コショウ……………1.5g
- オニオン……………2g
- 味の素……………2g
- 砂糖……………4g
- 3 澱粉……………15g
- 4 水(氷水)……………適量

なんばん漬けソーセージ

- 1 青森県産 豚腕肉……………500g
- 塩……………3g
- ナツメグ……………1g
- 2 白コショウ……………1.5g
- オニオン……………2g
- 味の素……………2g
- 砂糖……………4g
- 3 澱粉……………15g
- 4 水(氷水)……………適量
- 5 なんばん漬け……………適量

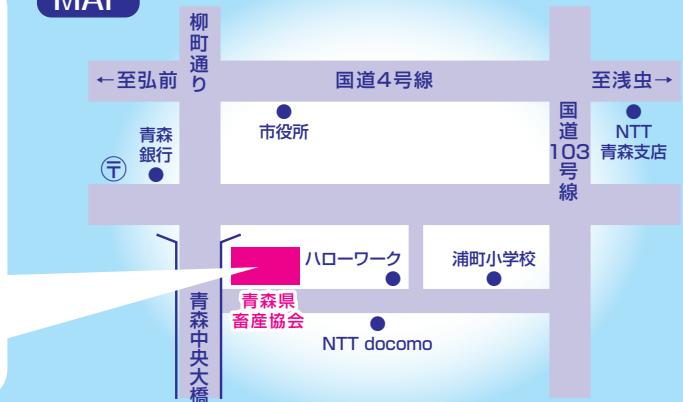
- 1 仕込み**
 - ・材料1に材料2を入れ、混ぜる。
 - ・全体的に混ざったら、材料3を入れて混ぜる。
 - ・材料4を入れ、粘り気が出るまで混ぜる。
 - ・なんばん漬けソーセージは5を混ぜる。
 - ポイント!**
夏季の場合は混ぜていると、ミックスの温度が上昇し易い為、4の水を氷水にすると良い。
- 2 腸詰**
 - ・羊腸を流水で洗い水につけておく(30分ぐらい)
 - ・ミックスを腸詰器に入れ羊腸をセットする。
 - ・ミックスを絞り出す。(一人は、ミックスを押し出し、もう一人は腸にミックスを詰め過ぎない様、調節し引っ張り出す)
 - *羊腸と、ミックス搾り袋はネットで購入できる。
- 3 ひねり**
 - ・全体を半分に折り、折り目は2、3回ひねる。好みの長さで区切り、ひねる。
 - ・ひねった所を交差させ、片方だけ輪にくぐらせる。(一重結びのように)
 - 上記を繰り返す。
 - ポイント!**
あまり無理に小さくするとくぐらせる時、腸が破けるので注意する!!
- 4 ボイル**
 - ・沸騰したお湯にソーセージを入れ、再沸騰した時点で火を止め蓋をして約10分間ボイルする。
 - *本数が多い場合は沸騰の時間を延ばす。
- 5 スモーク**
 - ・ボイルしたソーセージの水気を取り、桜のチップでスモークする。(お好みの時間で)
 - ポイント!**
強火にするとチップがすぐに焦げるので注意する!!
 - *スモークハウスは、ダンボールや、一斗缶などでOK。桜のチップはネットで購入できる。



ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定・衛生課 Tel(017)722-4331(衛生)
Tel(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp